

1. 科目名 (単位数)	音楽実践演習Ⅱ (2 単位)	3. 科目番号	SJMP2145
2. 授業担当教員	本野 洋子		
4. 授業形態	演習、講義, 実技	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	こどもと音楽、音楽実践演習」を履修済であること		
7. 講義概要	「音楽実践演習Ⅱ」では「音楽Ⅱ」で学んだことを実践する力をさらに高めるための演習を行う。リズム活動で使用される楽曲の演奏や動きに合わせ即興的に演奏する方法を実践的に学ぶ。わらべうたに関する理解を深め、歌い遊べるわらべうたのレパートリーを増やす。リズム楽器をはじめとする、保育活動で 사용되는楽器の正しい奏法、扱いに習熟し、子どもの歌や楽曲を楽器で楽しむ方法を学ぶ。弾き歌いの演奏技術に関しては継続的に演奏力を磨く。手遊び歌のレパートリーを増やし手遊び歌はわらべうた同様、正しい音程で歌えるように演習を重ねる。		
8. 学習目標	1. リズム活動のためのピアノ演奏ができ、自身も音楽に合わせリズムカルに動ける。 2. 保育活動で使われる楽器に関する正しい知識を持つ。楽器遊びや合奏にアレンジできる力をつける。 3. 手遊び歌、わらべうたのレパートリーを増やし、正しく歌い遊ぶことができる。 4. 弾き歌いの演奏技術を高める。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	① ピアノ：課題曲を次週までによく練習しておくこと。 ② こどもの歌、手遊び歌、リズム活動を主とした遊び歌等のレパートリーを増やす。 ③ コードネーム等授業内で課された理論課題を実施し、提出すること。 適宜に「弾き歌い」、「手遊び歌」等の発表を行う。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 ・音楽実践演習、音楽Ⅱで使用した教科書を継続使用。 ・上記の教科書以外に必要な楽譜等は、授業内でプリントにして配布予定。 【参考書】 ・二宮紀子著『歌って弾いて書いてわかる子どもの歌・ピアノ伴奏のしくみ』音楽之友社、2014。 【教材】※各自で必ず購入しておくこと。 ・五線紙、五線ノート(授業初回時に説明) ・ヘッドフォン ・6.3mmステレオジャック (先端が 3.5mmジャックの場合、ステレオ変換ジャックが必要)		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. リズム活動のためのピアノ演奏ができ、自身も音楽に合わせリズムカルに動けるか。 2. 保育活動で使われる楽器に関する正しい知識を持ち、楽器遊びや合奏にアレンジできるか。 3. 手遊び歌、わらべうたを正しく歌い遊ぶことができるか。 4. 弾き歌いの演奏技術を高められたか。 ○評定の方法 以下の点を総合して評価する。 1 リズム活動のためのピアノ演奏と動きの発表		

	いろいろな手遊び歌の実践① ピアノ演奏及び弾き歌いレッスン④	事後学習	レッスンの復習。コードネーム、いろいろな手遊び歌について復習。
第6回	音楽理論⑤コードネーム、カデンツの復習 いろいろな手遊び歌の実践② ピアノ演奏及び弾き歌いレッスン⑤	事前学習	課題曲の練習。
		事後学習	レッスンの復習。カデンツ、いろいろな手遊び歌について復習。
第7回	わらべうた、童謡、唱歌とは 「わらべうた」についてディスカッション、 レポート作成	事前学習	課題曲の練習。
		事後学習	課題曲の復習。わらべうた、童謡、唱歌について復習。
第8回	音楽理論⑥拍、拍子、拍子感 わらべうたを用いた活動 ピアノ演奏及び弾き歌いレッスン⑥	事前学習	課題曲の練習。
		事後学習	レッスンの復習。課題発表曲の準備
第9回	ピアノ弾き歌い発表 発表の振り返り	事前学習	課題発表曲の練習。
		事後学習	課題発表曲の復習。手遊び歌発表に向けて準備。
第10回	音楽理論⑦弱起について 手遊び歌発表へ向けてリハーサル 手遊び歌の発表①	事前学習	課題曲の練習。
		事後学習	課題曲の復習。弱起について復習。
第11回	音楽理論⑧言葉とリズムの関連 手遊び歌の発表② ピアノ演奏及び弾き歌いレッスン⑦	事前学習	課題曲の練習。
		事後学習	レッスンの復習。言葉とリズムについて復習。
第12回	音楽理論⑨強弱と緩急 アンサンブルの実践①ボディパーカッション ピアノ演奏及び弾き歌いレッスン⑧	事前学習	課題曲の練習。
		事後学習	レッスンの復習。ボディパーカッションについて復習。
第13回	音楽理論⑩シンコペーション アンサンブルの実践②身近な楽器を用いたアン サンブル ピアノ演奏及び弾き歌いレッスン⑨	事前学習	課題曲の練習。
		事後学習	レッスンの復習。シンコペーションについて復習。
第14回	音楽理論⑪コードネーム譜の作成 ピアノ弾き歌い発表に向けての準備	事前学習	課題発表曲の練習。
		事後学習	課題発表曲の練習。
第15回	ピアノ弾き歌い発表 発表の振り返り 今後の学びについて	事前学習	課題発表曲の準備。
		事後学習	今後の学びについて授業で指導されたことを実践する。